

平成25年度策定 地域管理経営計画等(案)の概要

北海道森林管理局

1. 計画の体系及び森林計画区
2. 経常樹立計画の概要
3. 変更計画の概要

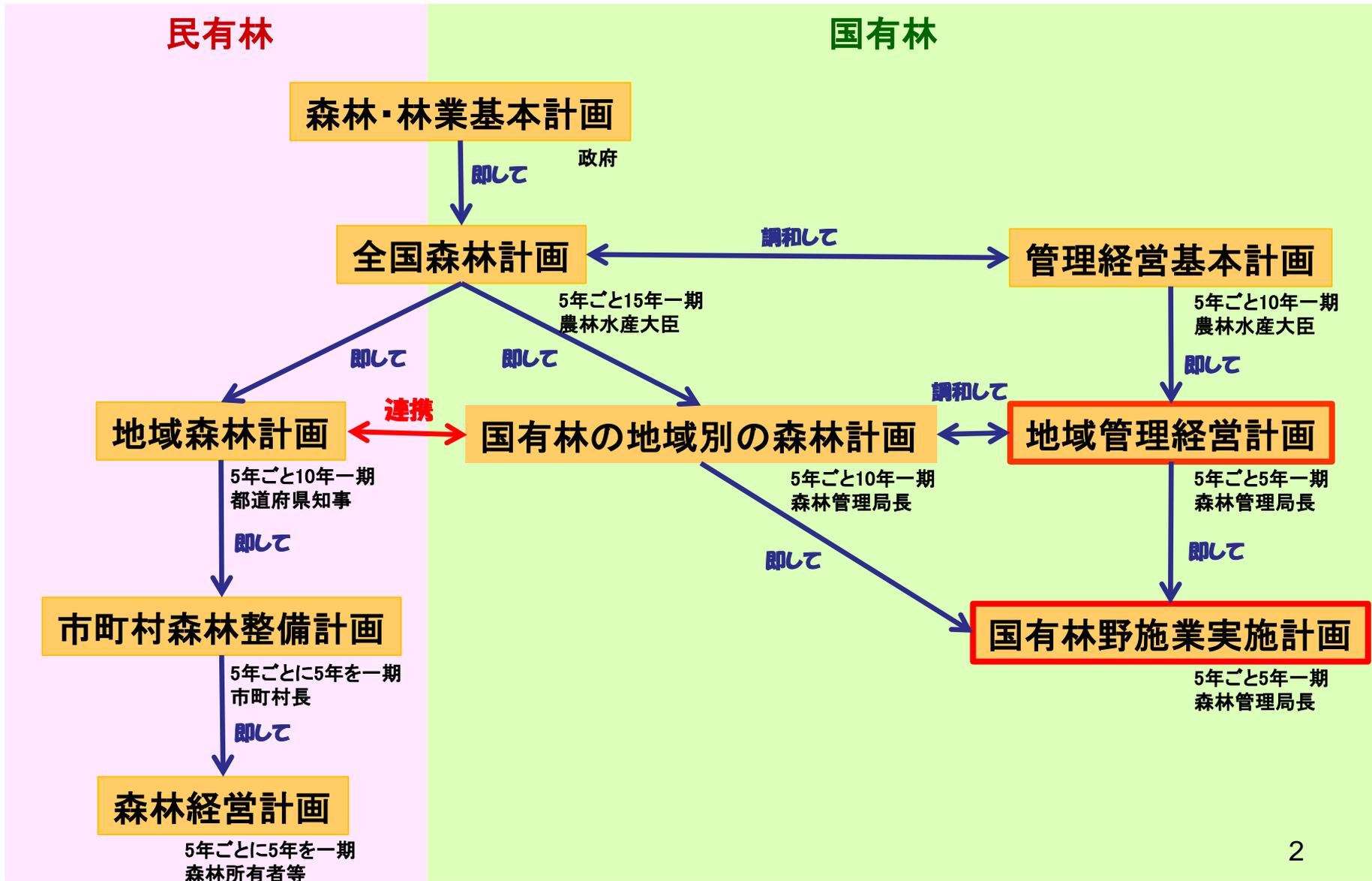
初冬の日高山脈(カムイエクウチカウシ付近)

1. 計画の体系及び森林計画区

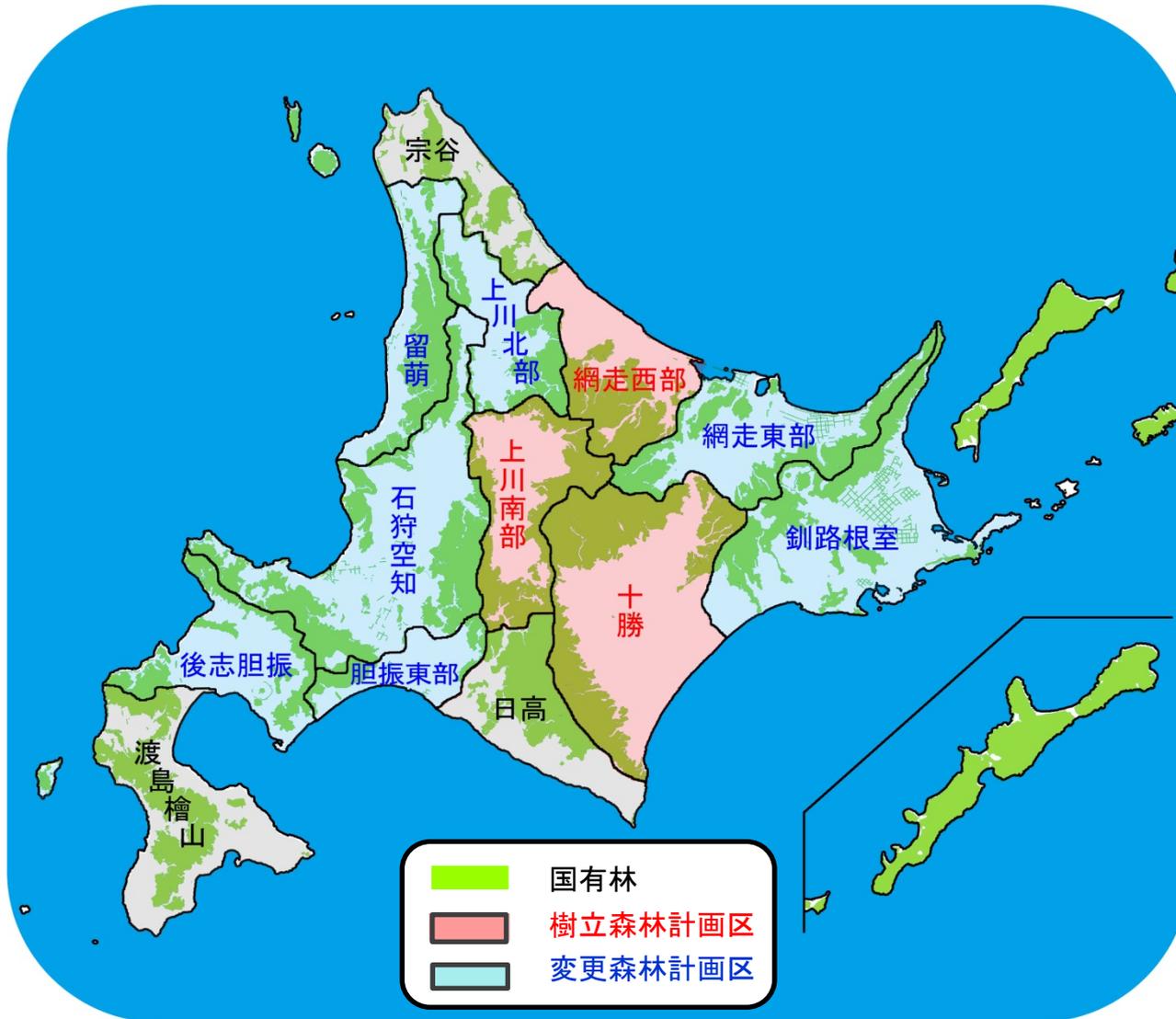
i) 計画の体系

ii) 森林計画区的位置

計画の体系



森林計画区的位置



計画樹立年度

樹立年度	計画区名
25年度	上川南部 網走西部 十勝
26年度	日高 渡島檜山
27年度	胆振東部 宗谷 網走東部
28年度	留萌 釧路根室
29年度	上川北部 石狩空知 後志胆振

2. 經常樹立計画(案)の概要

- i) 各森林計画区の地勢、特徴
- ii) 各森林計画区の国有林野の現況

上川南部森林計画区の国有林野の現況

(参考)

流域面積
565千ha

森林面積
420千ha
流域面積の74%

国有林野
275千ha
森林面積の65%

林種別面積



人工林の樹種別面積



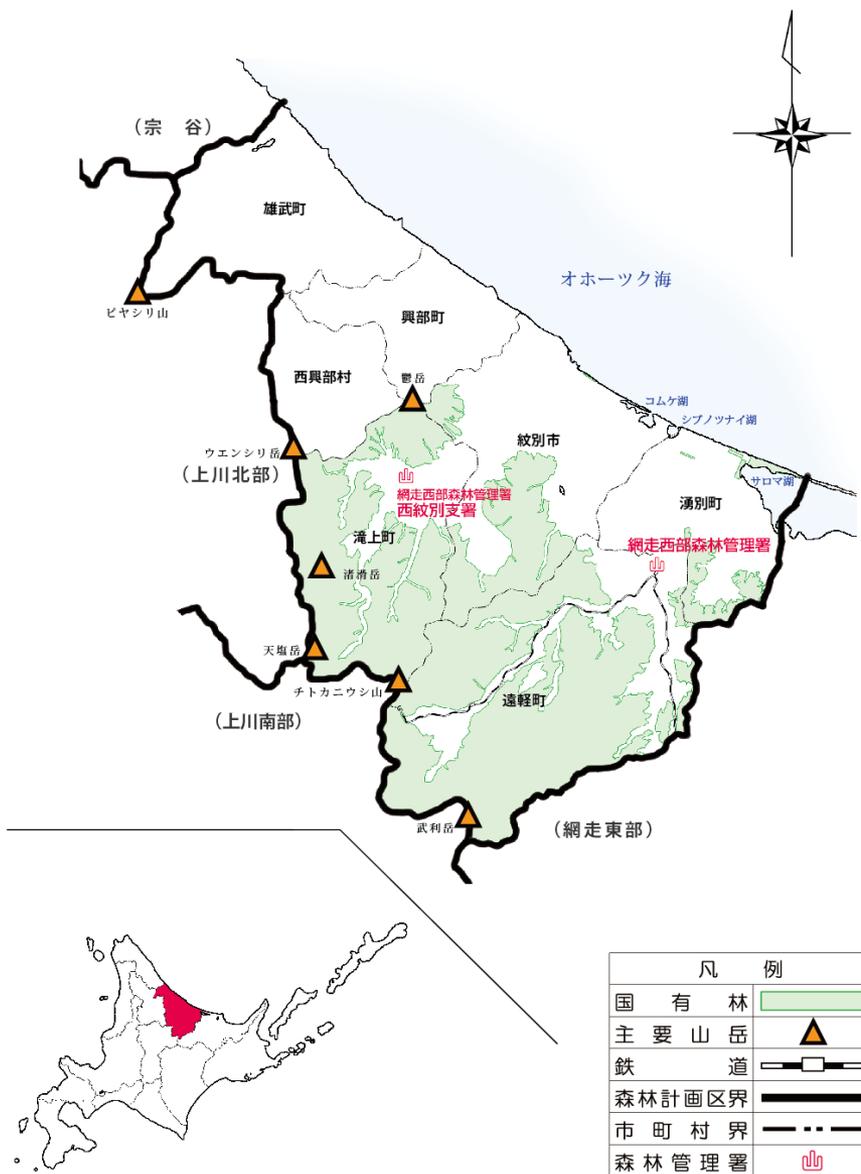
※ エゾマツにはアカエゾマツ、カラマツにはグイマツをそれぞれ含む。以降同じ。

天然生林の林相別面積



網走西部森林計画区の地勢、特徴

網走西部森林計画区の位置図



網走西部森林計画区の国有林の管理経営は、**網走西部森林管理署**及び**網走西部森林管理署西紋別支署**が行っています。

本森林計画区の国有林野は、遠軽町、湧別町、紋別市及び滝上町の、1市3町に広がっています。

本森林計画区の国有林野には網走国定公園のほか、優れた山岳景観を有し道立自然公園に指定されている天塩岳などがあり、さらには、丸瀬布温泉等の温泉施設、滝上溪谷や十三の滝、山彦の滝等豊かな森林景観と豊富な観光資源に恵まれている地域があることから、登山や森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されています。

網走西部森林計画区の国有林の現況

(参考)

流域面積
474千ha

森林面積
380千ha
流域面積の80%

国有林野
191千ha
森林面積の50%

林種別面積



人工林の樹種別面積

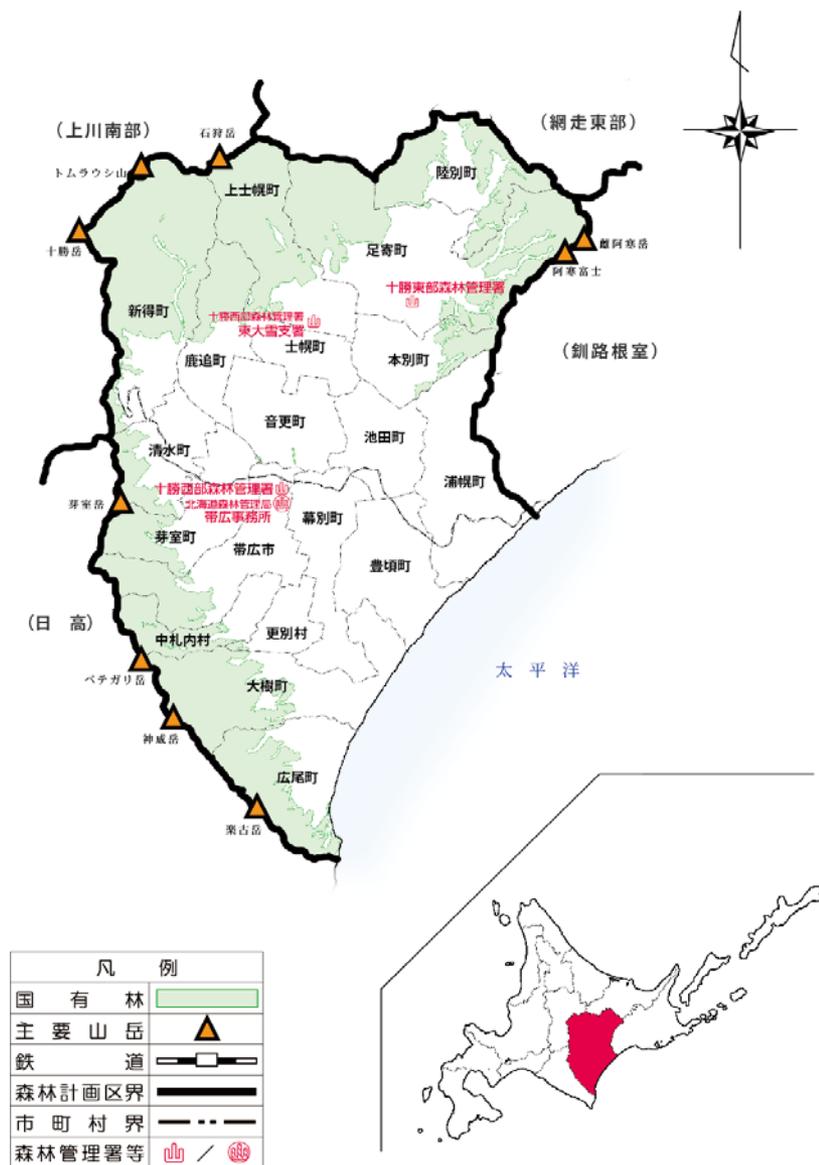


天然生林の 林相別面積



十勝森林計画区の地勢、特徴

十勝森林計画区的位置図



十勝森林計画区の国有林の管理経営は、**十勝東部森林管理署**、**十勝西部森林管理署**及び**十勝西部森林管理署東大雪支署**が行っています。

本森林計画区の国有林野は、帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、本別町、足寄町及び陸別町の、1市12町2村に広がっています。

また、当該計画区内に設定している大雪山森林生態系保護地域・日高山脈森林生態系保護地域及びそれらの保護林をつなぐ大雪・日高緑の回廊や日高山脈東部・十勝川上流森林生物遺伝資源保存林等、貴重な森林生態系の維持・保全が求められています。

十勝森林計画区の国有林の現況

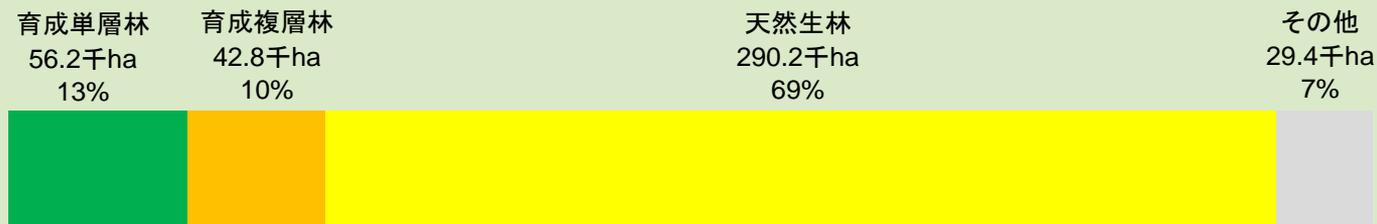
(参考)

流域面積
1,083千ha

森林面積
692千ha
流域面積の64%

国有林野
419千ha
森林面積の60%

林種別面積



人工林の樹種別面積



天然生林の林相別面積



iii) 計画樹立の考え方

- ・計画樹立の基本的考え方
- ・地域管理経営計画における管理経営の基本的考え方
- ・機能類型別面積の割合
- ・保護林の面積
- ・レクリエーションの森の面積
- ・人工林齢級別面積

iv) 新計画の主要計画量

- ・伐採計画
- ・更新計画
- ・保育計画
- ・林道開設計画
- ・治山計画

計画樹立の基本的考え方

森林の公益的機能の維持増進

水源かん養機能、山地災害の防止機能、生物多様性を保全する機能、レクリエーションや教育の場としての保健文化的機能など、森林の多面的な機能の維持増進を図るため、適切な管理経営を行う

森林・林業の再生に向けた取り組み

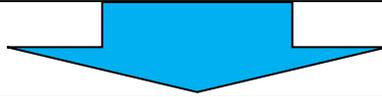
森林施業の集約化、路網の整備及び必要な人材育成を軸として、効率的かつ安定的な林業経営の基盤づくりや木材の安定供給と利用を推進し、10年後の木材自給率50%を目指す

国民の森林としての管理経営

開かれた「国民の森林」を実現するため、住民参加の森林づくりを進める一環として、地域の方々からの意見・要望を聴くための「地元意見交換会」を、平成25年1月から2月にかけて各森林計画区で行い、寄せられた国民の声を施策に反映させるよう努め、地域の特徴に応じたさまざまな取り組みを推進します

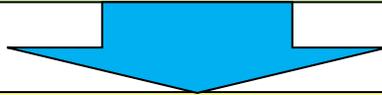
重視すべき機能に応じた管理経営の推進

森林に対する国民の要請は、山地災害の防止や水源の涵養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等、さらに多様化。



上記の要請や各森林計画の課題等を踏まえ、以下の3点を目標。

- ① 国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進
- ② 林産物の持続的かつ計画的な供給
- ③ 国有林野の活用によりその所在する地域の産業の振興または住民の福祉の向上に寄与



個々の国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって、以下の5つの機能類型に区分。なお、各機能の発揮を図るために必要な施業により生じる木材については、有効に利用。

- I 土砂流出や気象害の防備等、災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重視する
「**山地災害防止タイプ**」(「土砂流出・崩壊防備エリア」及び「気象害防備エリア」に細分)
- II 貴重な自然環境の保全や動植物の保護等に係る機能を重視する「**自然維持タイプ**」
- III 国民と自然とのふれあいの場としての利用に係る機能を重視する「**森林空間利用タイプ**」
- IV 騒音や粉塵等の低減・緩和などに係る機能を重視する「**快適環境形成タイプ**」
- V 良質な水の供給など水源の涵養に係る機能を重視する「**水源涵養タイプ**」

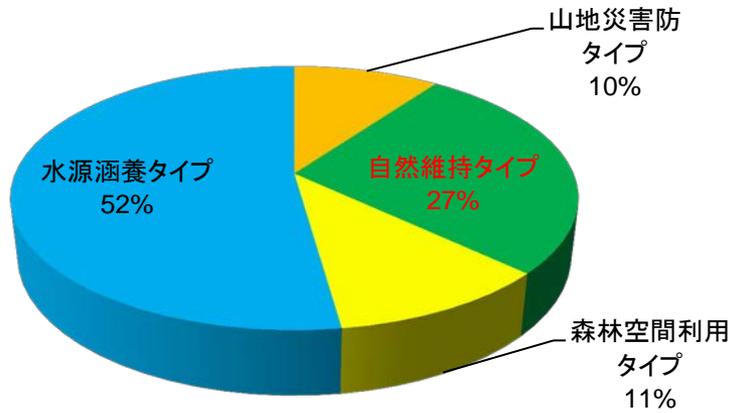
機能類型別面積の割合

各森林計画区の国有林の機能類型別面積は次のグラフのとおりです。

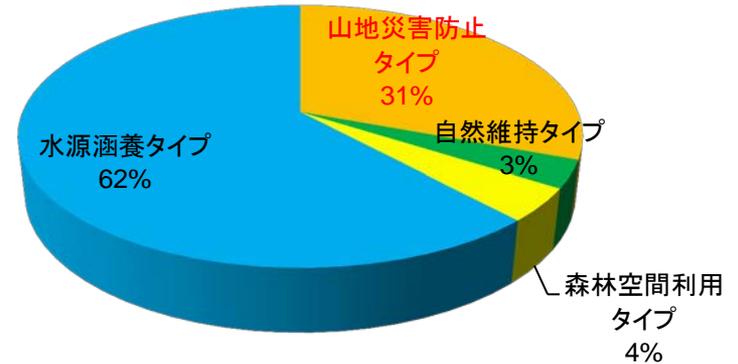
上川南部及び十勝森林計画区は、**大雪山森林生態系保護地域・日高山脈森林生態系保護地域等貴重な森林生態系が多いため**、自然維持タイプの割合が高くなっています。

網走西部森林計画区は、**崩壊の恐れがある地形が多いため**、山地災害防止タイプの割合が高くなっています。

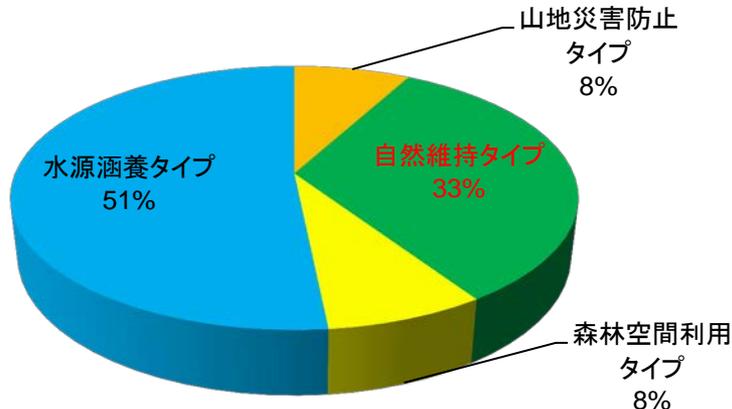
【上川南部森林計画区】



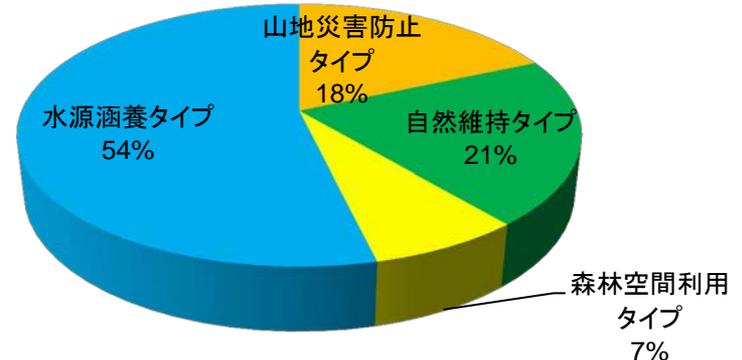
【網走西部森林計画】



【十勝森林計画区】



【全道(参考)】



保護林

保護林制度

原生的な自然の維持や動植物の保護等のため、豊かな生態系を有する森林を保護林として設定し保全する国有林野事業独自の森林保護制度



十勝川上流森林生物遺伝資源保存林
(十勝森林計画区)

種 類	上川南部森林計画区		網走西部森林計画区		十勝森林計画区	
	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
森林生態系保護地域	2	46,616	—	—	2	102,838
森林生物遺伝資源保存林	—	—	—	—	2	25,031
林木遺伝資源保存林	15	263	8	200	18	134
植物群落保護林	5	2,641	—	—	2	200
特定動物生息地保護林	1	1,098	—	—	3	3,157
特定地理等保護林	—	—	1	3	1	5
郷土の森	—	—	—	—	—	—
計	23	50,618	9	203	28	131,365

レクリエーションの森

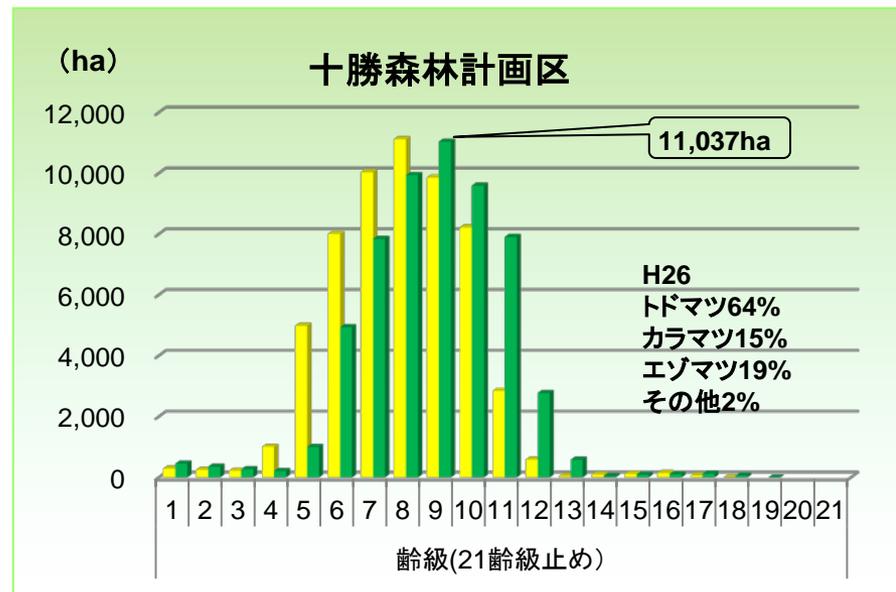
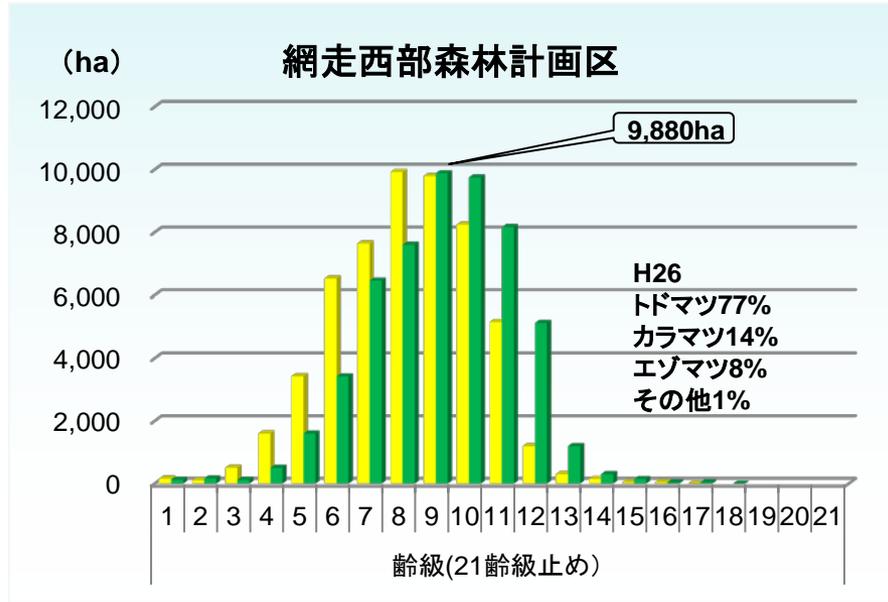
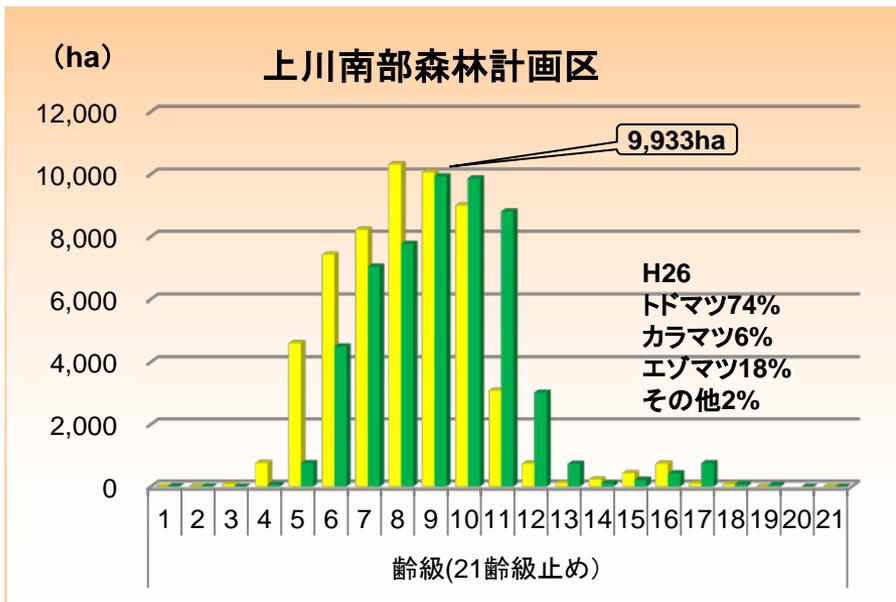


人と森林とのふれあいの場として、国民の保健及び休養に広く利用されることを目的に指定しています

嵐山・神居自然休養林
(上川南部森林計画区)

種 類	上川南部森林計画区		網走西部森林計画区		十勝森林計画区	
	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
自然休養林	2	1,999	2	1,313	3	4,409
自然観察教育林	7	59	1	1,100	2	289
風景林	7	2,391	6	2,290	14	19,124
森林スポーツ林	3	239	2	1,556	—	—
野外スポーツ地域	6	2,305	2	633	2	818
風致探勝林	6	3,482	—	—	3	493
計	31	10,475	13	6,892	24	25,133

人工林齢級別面積



凡例: ■ 平成21年度期首 ■ 平成26年度期首

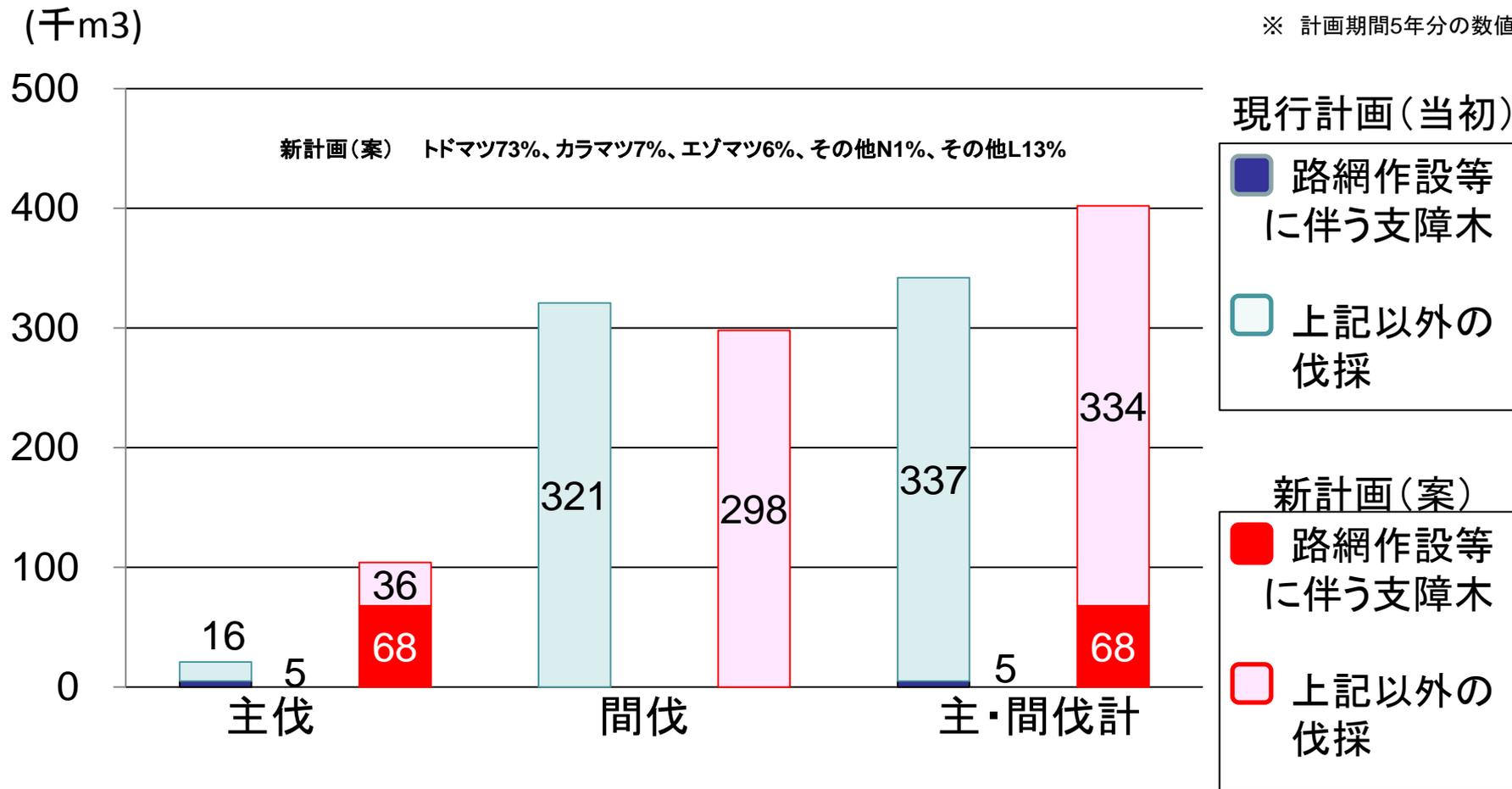
標準的なトドマツの利用間伐は9齢級から、主伐については13齢級からが対象となり、年々対象林分が増加します。
一方、若齢林が非常に少ない状態であり、今後、持続可能な森林経営のできる森林資源の造成を目指します。

苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生をⅠ齢級、6～10年生をⅡ齢級と数えます。

伐採計画

～上川南部森林計画区～

※ 計画期間5年分の数値



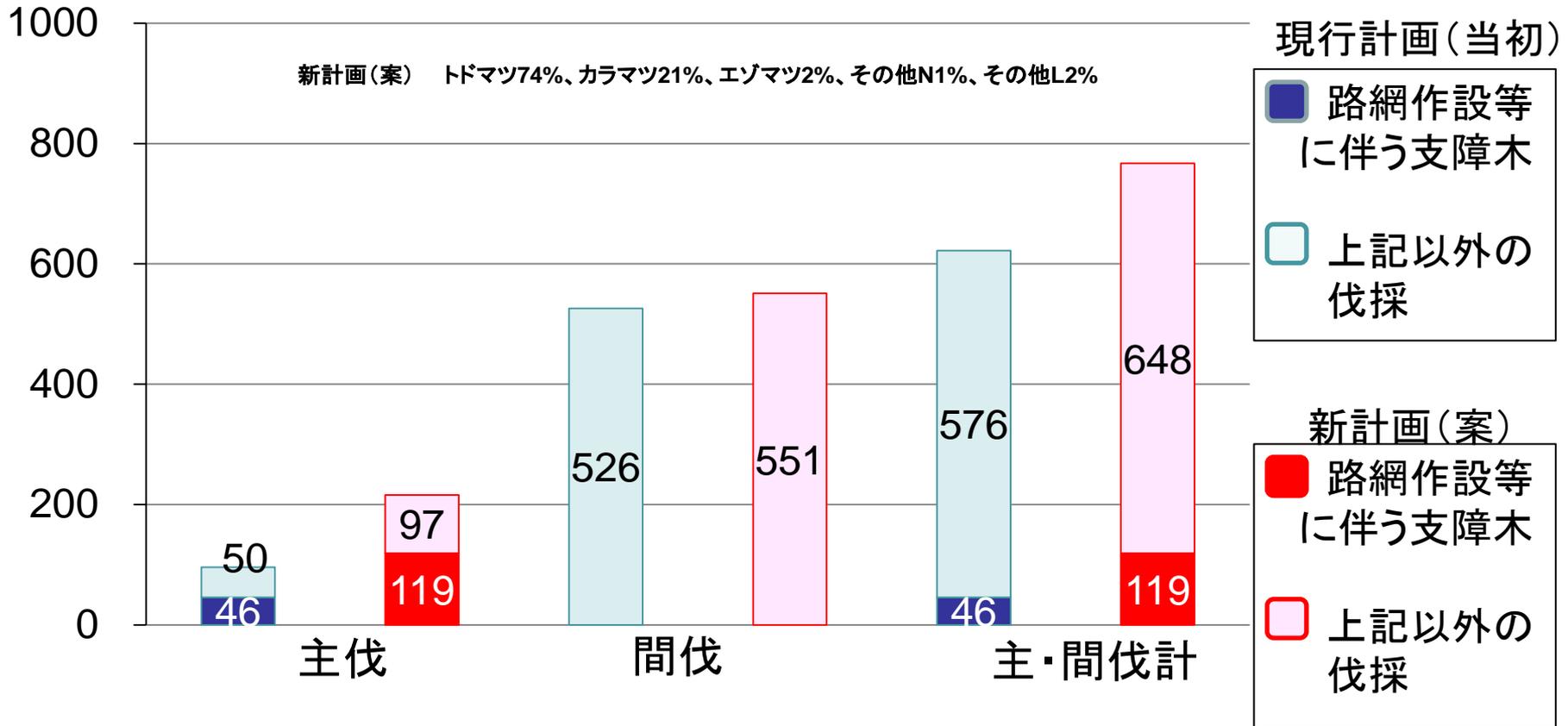
主伐林齢に達した林分が増加し資源の充実を図る目的で複層伐を計画したこと及び路網作設等に伴う支障木を多く見込んだこと等により主伐が増加した結果、主・間伐計で増となっています。

伐採計画

～網走西部森林計画区～

(千m3)

※ 計画期間5年分の数値

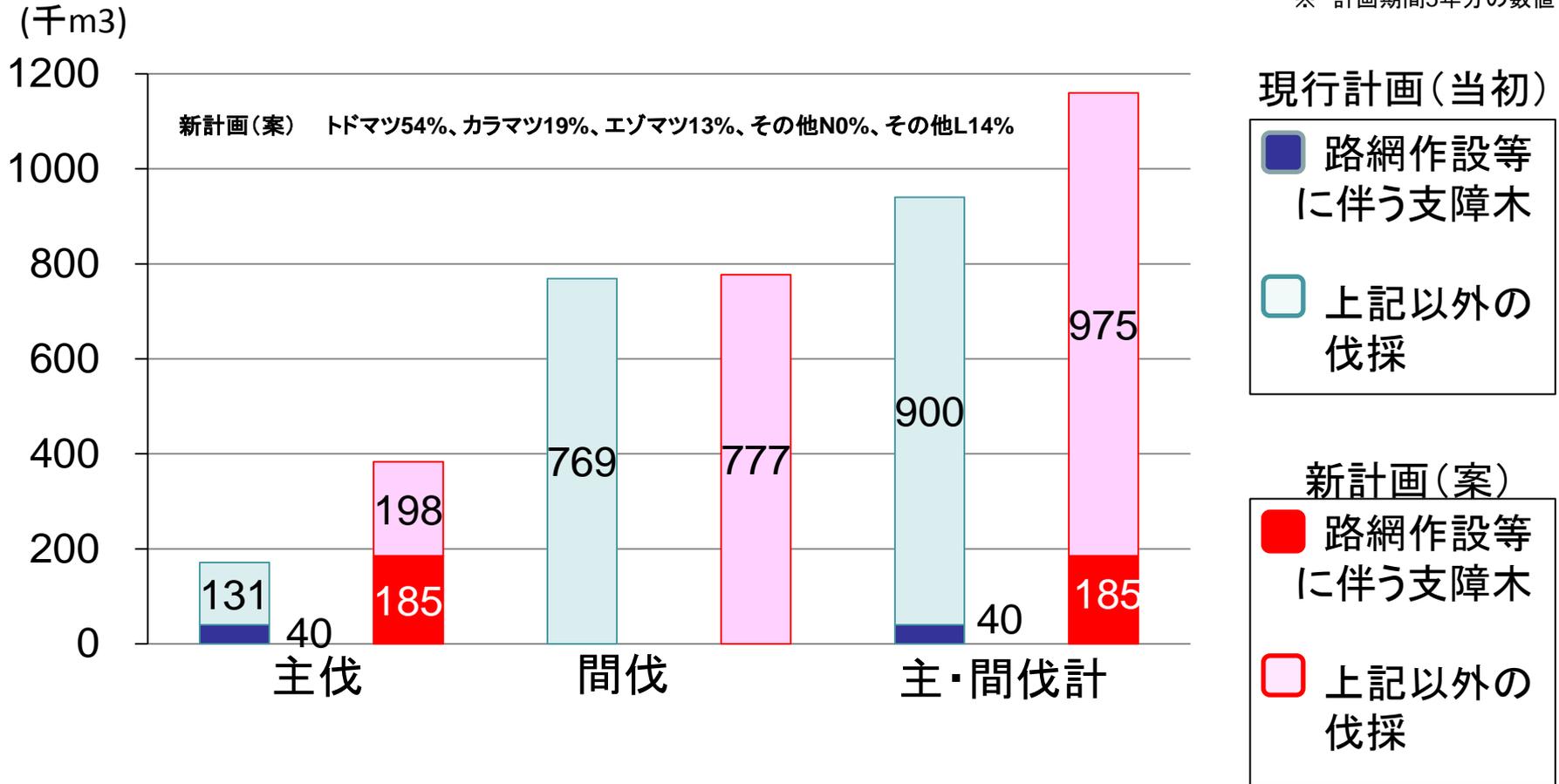


主伐林齢に達した林分が増加し資源の充実を図る目的で複層伐を計画したこと及び路網作設等に伴う支障木を多く見込んだこと等により主伐が増加した結果、主・間伐計で増となっています。

伐採計画

～十勝森林計画区～

※ 計画期間5年分の数値

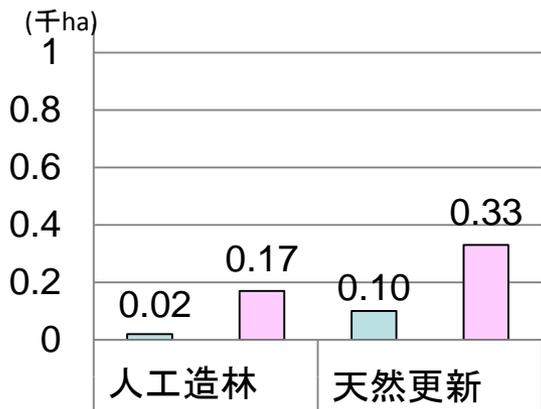


主伐林齢に達した林分が増加し資源の充実を図る目的で複層伐を計画したこと及び路網作設等に伴う支障木を多く見込んだこと等により主伐が増加した結果、主・間伐計で増となっています。

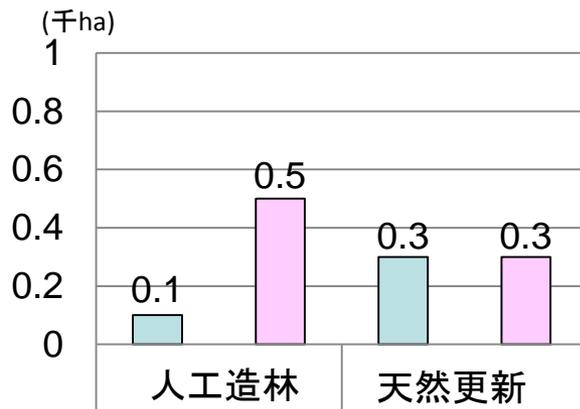
更新計画

■ 現行計画(当初) ■ 新計画(案)

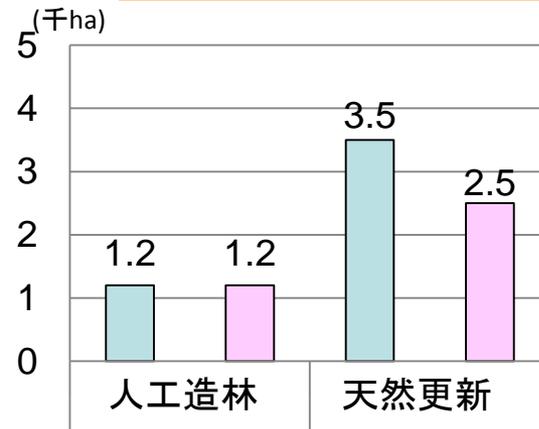
上川南部森林計画区



網走西部森林計画区



十勝森林計画区



○人工造林

複層伐等の**主伐の増加**に伴い増加しています。

○天然更新

人工林を天然林へ誘導するための伐採(択伐)及び未立木地への更新を計画したことから増加しています。

○人工造林

複層伐の増加及び分収林の主伐等に伴い増加しています。

○天然更新

前計画と同程度の計画となっています。

○人工造林

主伐は増加しているものの現行計画と同量で計画しています。これは、**前計画(H16~20)においてH18台風被害地の復旧のための造林計画が現行計画(H21~25)に繰越してきたため**です。

○天然更新

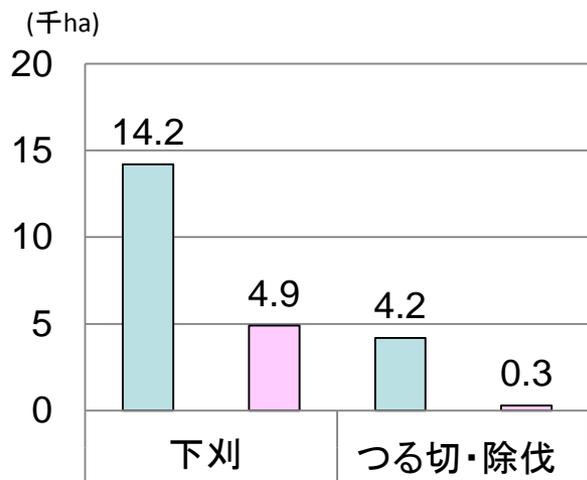
天然林の主伐面積が減少傾向等のため減少しています。

保育計画

■ 現行計画(当初) ■ 新計画(案)

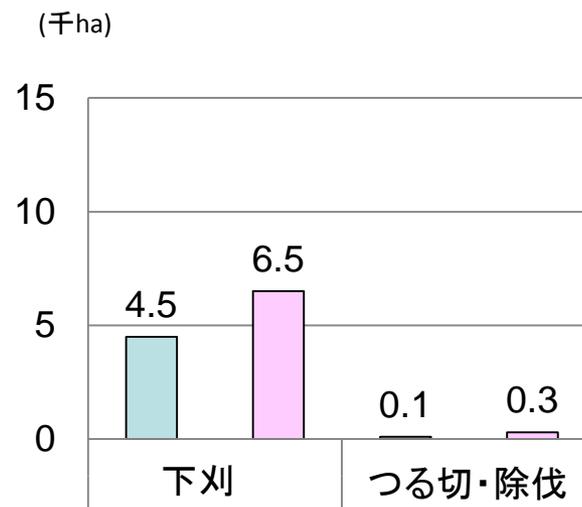
※計画期間5年分の数値

上川南部森林計画区

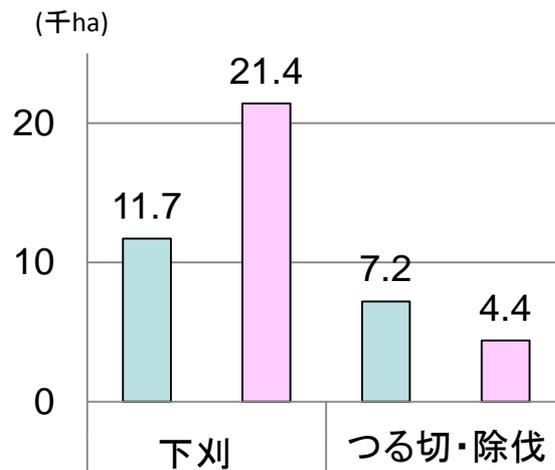


上川南部の下刈りについては、現行計画(H21~25)の**前計画(H16~20)において主伐面積が大きく、下刈りの多くが前計画内で完了せず、現行計画に繰越してきたため、新計画では減少しています。**それ以外の地区については、**主伐が増加したことから、増加しています。**

網走西部森林計画区



十勝森林計画区



林道の開設計画



現行計画(変更後)



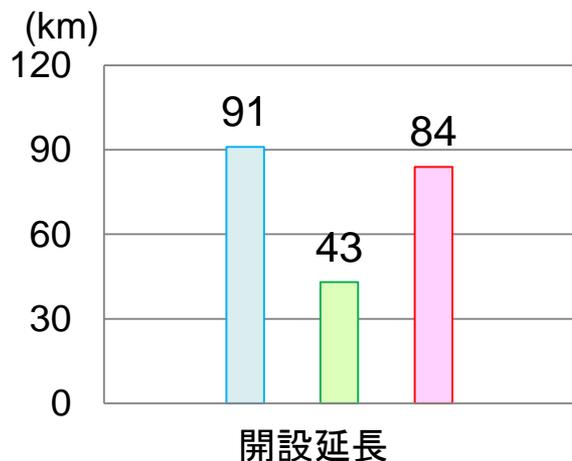
実行結果



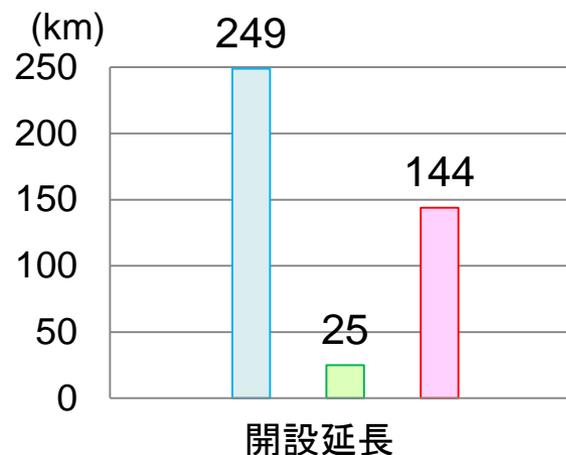
新計画(案)

※計画期間5年分の数値

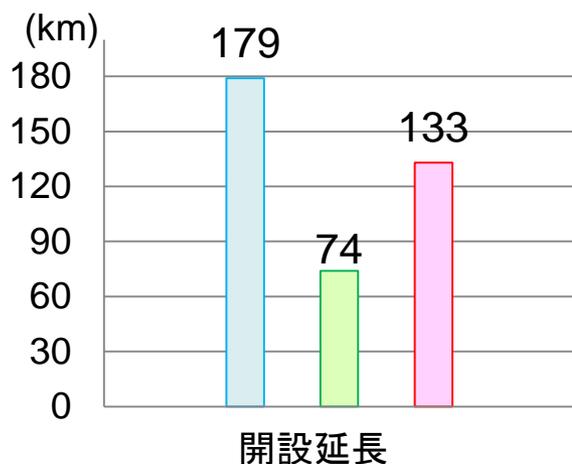
上川南部森林計画区



網走西部森林計画区



十勝森林計画区



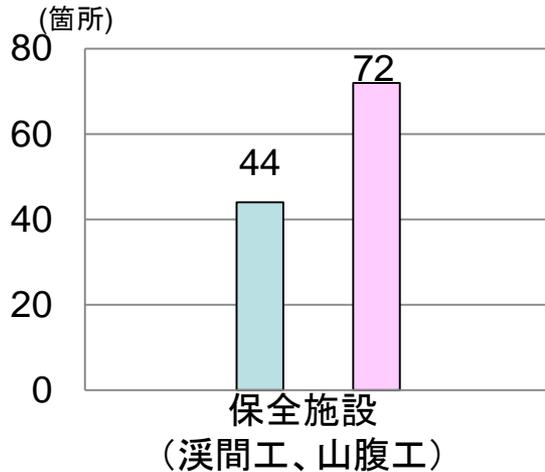
前計画においては、積極的な路網整備を計画しましたが、森林作業道の新設や、既設路網の活用等により、実行結果が**各計画区とも大幅に減少**しており、そのような状況も踏まえ、また、**伐採予定箇所を考慮**して計画しています。

治山事業計画

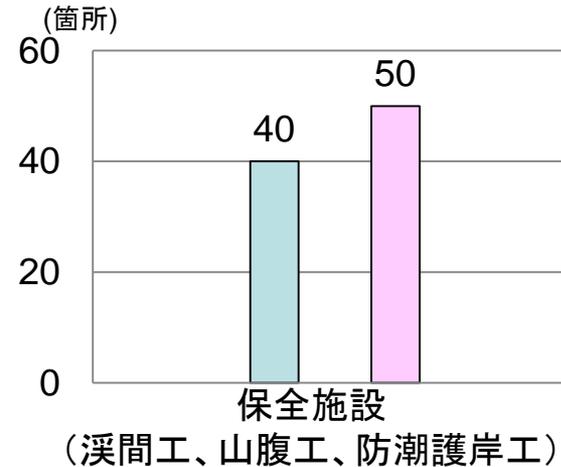
■ 現行計画(当初) ■ 新計画(案)

※計画期間5年分の数値

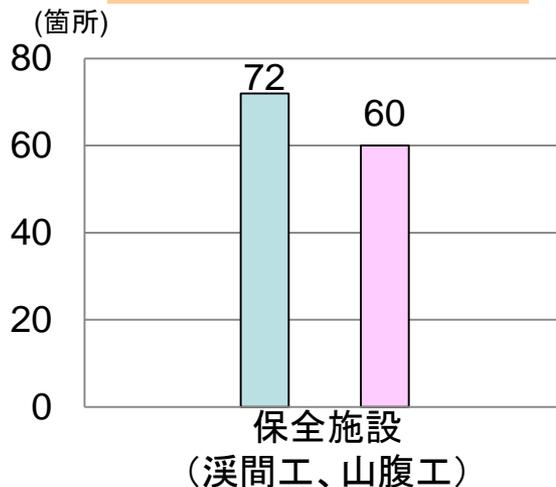
上川南部森林計画区



網走西部森林計画区



十勝森林計画区



保全対象に対する事業の必要性・緊急性等を考慮しつつ、積極的に計画しています。

その他特徴的な事項

- 公益的機能の高度発揮に向けた取り組み
- 資源循環に向けた取り組み
- その他

公益的機能の高度発揮に向けた取組（溪畔周辺の取扱い）

（3計画区共通）

溪畔周辺の保全の目的

溪流沿いや湖沼の周辺等の溪畔周辺は、源流部から中・下流域を経て海岸線までの連続的なネットワークを形成しており、**生物多様性の保全に大きく貢献**していることから、**魚類等野生生物の生息環境や水系への土砂流出の抑制等に留意した水辺域の森林保全**に関する取扱い方法を定めることとし、**現地検討会を実施し**、十勝森林計画区において**モデル溪畔林流域を設定**しました。



溪畔周辺の様子

溪畔周辺の取扱い方法

溪畔周辺を**水辺から概ね25m**（高木性樹木の平均樹高）の範囲とし、その範囲内で実施する**森林施業や路網整備**について、**魚類等野生生物の生息環境等に配慮して実施**することとしています。



現地検討会の模様

溪畔周辺における施業（模式図）



公益的機能の高度発揮に向けた取り組み(上川南部森林計画区)

イトウの生息環境への配慮

本森林計画区には、イトウの生息及び産卵が確認されている地域があり、保護河川流域の森林については、**河川への土砂流入による濁水発生**の防止に努めること等**イトウの生息環境に配慮した間伐等の森林施業**に努めます。



金山湖(上川南部署)

貴重な自然環境の維持・保全

大雪山森林生態系保護地域・日高山脈森林生態系保護地域及びそれらの保護林をつなぐ大雪・日高緑の回廊を適切に**管理**し、貴重な森林生態系の**維持・保全**に努めます。

また、優れた山岳景観を持つ大雪山国立公園、富良野芦別道立自然公園が指定されており、山岳、温泉等参加・体験型の観光及び森林レクリエーションの場として多くの利用者を集めています。これらの**森林の有する保健・文化機能の維持・増進**のため、豊かな自然環境の**保全**や**自然とのふれあい**に配慮した森林の**取扱い**に努めます。



大雪原生林保護林
(上川中部署)

公益的機能の高度発揮に向けた取り組み(十勝森林計画区)

シマフクロウの生息環境への配慮

本森林計画区には、国内希少野生動植物種に指定されているシマフクロウが生息している地域があり、これまでも各関係機関と協力し保護の取組を進めてきました。

平成24年3月に環境省北海道地方環境事務所と北海道森林管理局が共同で「シマフクロウ生息地拡大に向けた環境整備計画」を策定し、生息環境の整備を図ることとしました。当計画区においても、将来の生息地としてポテンシャルの高い地域を「先行モデル地域」として選定し、森林の整備を通じて順応的に環境改善を図る取り組みを開始します。



シマフクロウのひな

貴重な自然環境の維持・保全

大雪山森林生態系保護地域・日高山脈森林生態系保護地域及びそれらの保護林をつなぐ大雪・日高緑の回廊等を適切に管理し、貴重な森林生態系の維持・保全に努めます。

また、優れた山岳景観を持つ大雪山国立公園、阿寒国立公園等において、参加・体験型の観光及び森林レクリエーションの場として多くの利用者を集めています。これらの森林の有する保健・文化機能の維持・増進のため、豊かな自然環境の保全や自然とのふれあいに配慮した森林の取扱いに努めます。



十勝川上流森林生物遺伝資源保存林(東大雪支署)

資源循環に向けた取り組み①（3計画区共通）

積極的な森林整備と木材の安定供給

低コスト・高効率な作業システムによる森林整備の推進



コンテナ苗



低コストで崩れにくい
森林作業道



高性能林業機械による
列状間伐

資源循環に向けた取り組み②（3計画区共通）

積極的な森林整備と木材の安定供給

安定供給システム販売による需要・販路の確保・拡大

平成25年度 国有林材安定供給システム協定 例

森林管理署	物件内容	取り組みの概要
上川中部	トドマツ、エゾマツ、アカエゾマツ 一般材、低質材 針葉樹・広葉樹 原料材	各協定者が相互協力することにより、販売圏拡充による道外移出の拡大を図るとともに、プレカット工場と連携することにより安定した品質・精度を確保し付加価値を上げ、国産材の利用率向上を推進する。
網走西部	トドマツ、エゾマツ、アカエゾマツ 統合材 針葉樹・広葉樹 原料材	SGEC認証材の利用率をアップさせるため、含水率・寸法精度などの管理を徹底し、品質・性能の明確な製品を安定的に供給するとともに、流通後の管理を図り、大手ハウスメーカー等新たな販路開拓を進めていく。さらに、高齢級トドマツ人工林材の製品開発を進め販路の開拓に取り組む。
十勝東部	針葉樹 原料材	買受者が、樹材種に応じて協定する各工場に適材を安定的に供給し、原木の有効利用、受入間口の拡大を図る。また、製紙用チップとして利用するほか、ネコイレ用木質ペレット用、木質バーク燃料用、家畜用敷料等として利用し、森林資源の有効利用を図る。

安定供給システム販売： 地域における安定供給体制の整備や木材の新たな需要の拡大、加工・流通の合理化等に資する提案を受け、企画競争方式により国有林の木材（立木や丸太）を安定的・計画的に供給する販売方法です。

資源循環に向けた取り組み③ (3計画区共通)

森林施業団地の設定による地域課題の解決

民有林・国有林が連携することにより、効率的な路網整備や森林整備を行い、森林施業の低コスト化や木質バイオマスの安定供給を図ります。

(上川南部森林計画区)

越路・豊原・共進地区

森林共同施業団地

幾寅・落合地区

森林共同施業団地

(網走西部森林計画区)

支湧別地域森林共同施業団地

中立牛地域森林共同施業団地

(十勝森林計画区)

稲牛・川向地区

森林共同施業団地

幸徳地域森林共同施業団地

新得地域森林共同施業団地



(十勝森林計画区・大樹町森林組合)
森林整備協定締結の調印式

資源循環に向けた取り組み(網走西部森林計画区)

森林認証による地域の活性化

網走西部流域では市町村や林業関係者が一体となってSGEC(「緑の循環」認証会議)森林認証を活用したオホーツクブランドの確立と普及啓発に取り組んでいます。

国有林においても地元の強い要望のもと民有林支援として地域主導の先進的な取組を加速するため地域の森林・林業・林産業関係者と連携しつつ、認証森林の整備、認証材の普及PR等に努めます。



SGEC森林認証審査会

バイオマスエネルギー向け資材の供給

昨年、オホーツク地方に大規模なバイオマス発電施設が建設されるとの報道があったところであり、バイオマスエネルギー向けとして、木材資源活用の期待が大きいことから、その適切な供給に努めます。



グラップルとフォワーダによる作業
(西紋別支署部内)

森林環境教育の推進（3計画区共通）

遊々の森

学校や地方公共団体等、NPOと協定を結び、
子供たちの体験学習や学習活動のフィールドとして国有林を提供

- ・上小の森「エミーナ」外（上川南部森林計画区）
- ・やすらぎの森（網走西部森林計画区）
- ・カムイコタン歴舟の森 外（十勝森林計画区）



ふれあいの森

緑づくりや環境保全に貢献したい方へボランティア活動の場として
国有林を提供

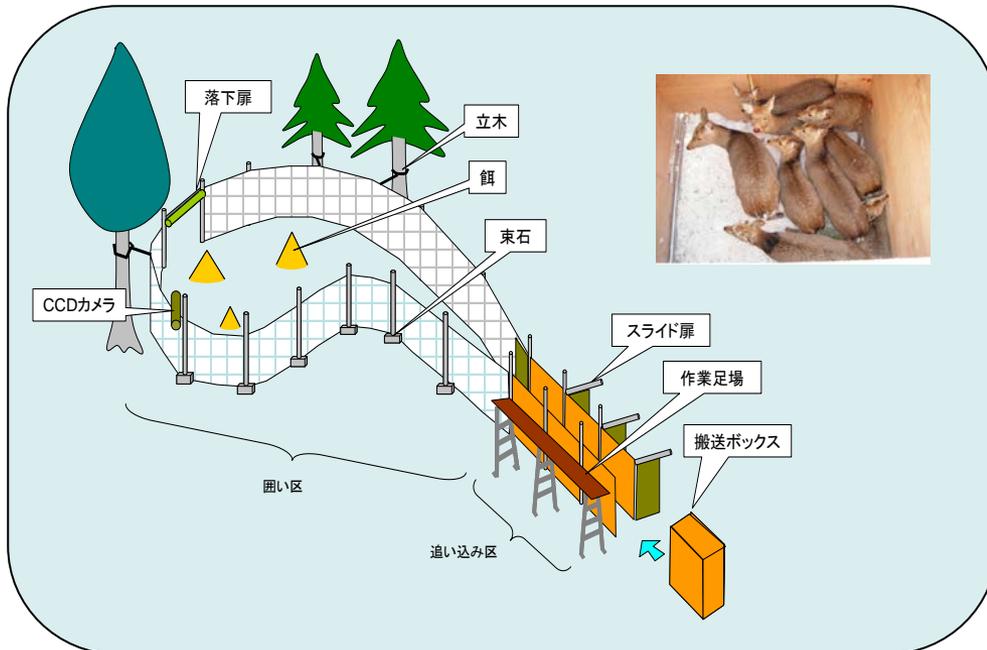
- ・お魚を殖やす森 外（上川南部森林計画区）
- ・ミュビゲラの森 外（十勝森林計画区）



エゾシカ被害対策(3計画区共通)

・ シャープシューティングによる捕獲事業の実施

シャープシューティングとは、野生のシカを一時的に餌付けした上で、銃器によって捕獲する方法であり、一定水準以上の技量を有する射手、動物の行動をコントロールするための給餌、警戒心の強い個体の出現予防への配慮等の体制を整え行う手法です。



・ 罠いワナによる捕獲事業の実施

・ 有害鳥獣駆除(一斉捕獲含む)を対象とした林道除雪の実施



3. 変更計画の概要

変更計画のポイント

伐採計画の見直し

(後志胆振、石狩空知、上川北部、留萌、網走東部、釧路根室計画区)

更新計画の見直し

(後志胆振、石狩空知、留萌、網走東部、釧路根室計画区)

林道計画の見直し

(後志胆振、胆振東部、石狩空知、留萌、網走東部、釧路根室計画区)

森林計画区	経常樹立	変更		
		伐採計画	更新計画	林道計画
上川南部	○			
網走西部	○			
十勝	○			
渡島檜山				
後志胆振		○	○	○
胆振東部				○
日高				
石狩空知		○	○	○
上川北部		○		
留萌		○	○	○
宗谷				
網走東部		○	○	○
釧路根室		○	○	○

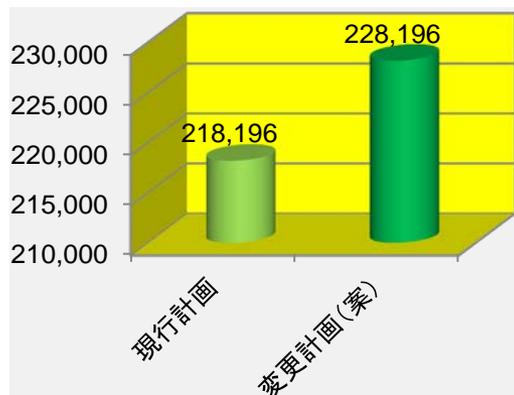
伐採計画の見直し(各変更計画区)

単位: m²

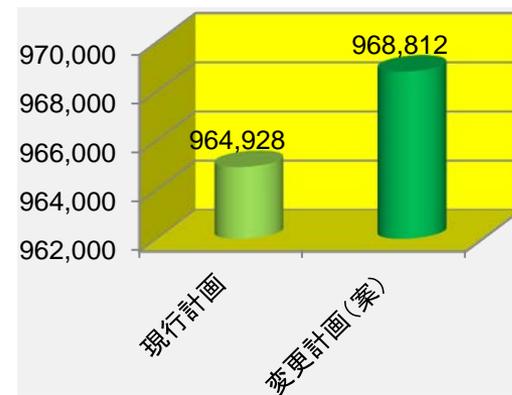
留萌森林計画区



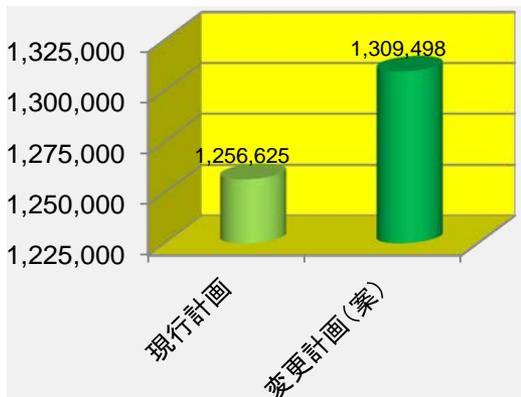
上川北部森林計画区



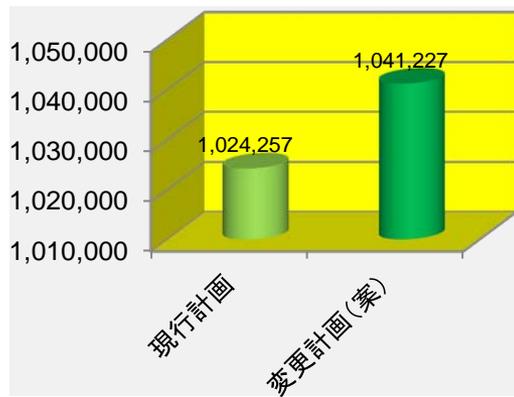
石狩空知森林計画区



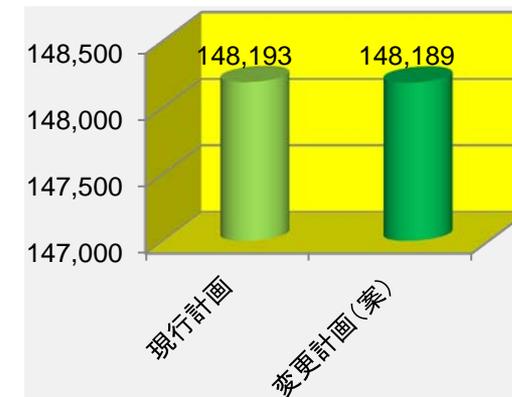
網走東部森林計画区



釧路根室森林計画区



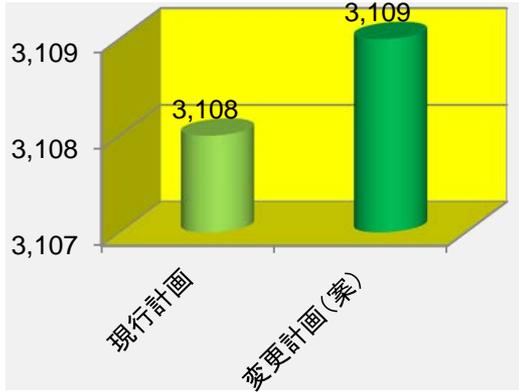
後志胆振森林計画区



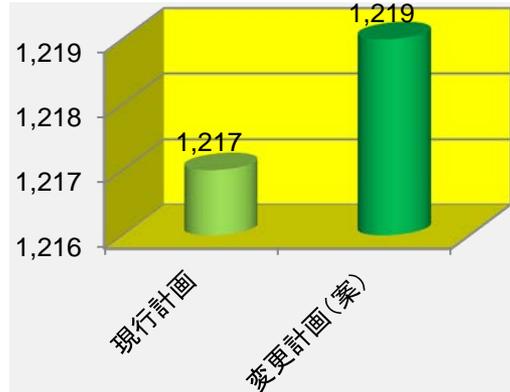
更新計画の見直し(各変更計画区)

単位:ha

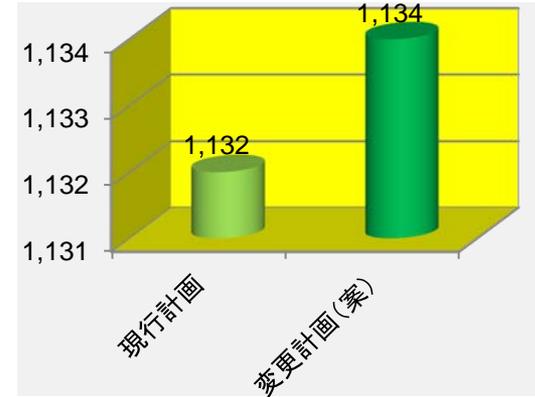
留萌森林計画区



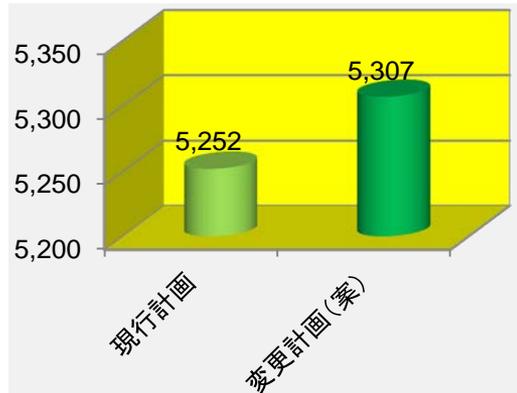
石狩空知森林計画区



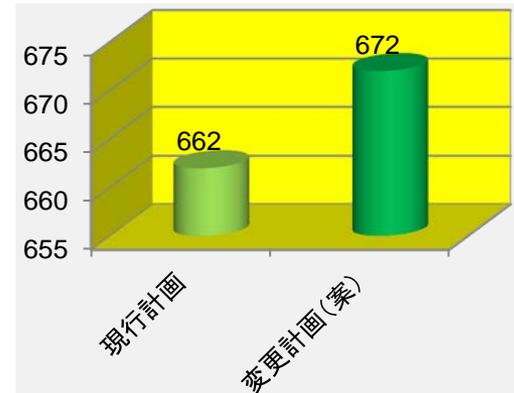
網走東部森林計画区



釧路根室森林計画区



後志胆振森林計画区



林道計画の見直し(各変更計画区)

単位: km

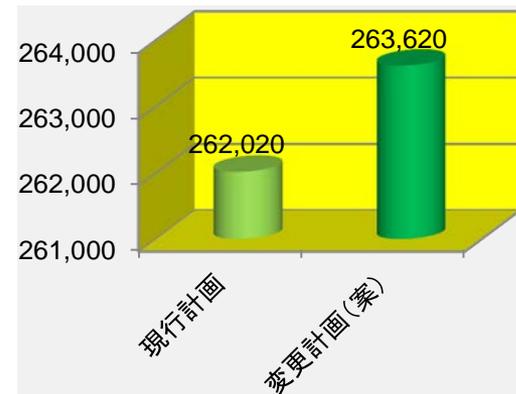
留萌森林計画区



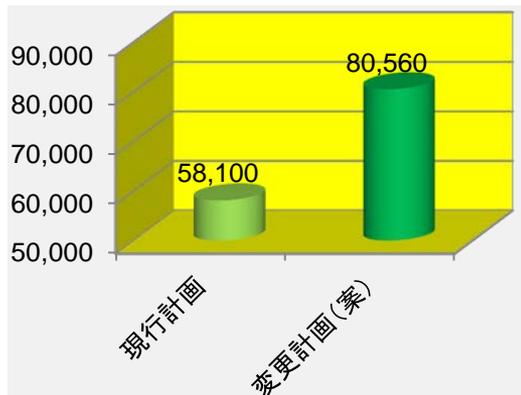
石狩空知森林計画区



網走東部森林計画区



釧路根室森林計画区



胆振東部森林計画区



後志胆振森林計画区

